



第13回体育大会

今年の体育大会は、生徒会のスローガン「one for all, all for one」の精神どおり、614人の生徒の団結力を感じ取ることができました。

中央中学校伝統のムカデリレーは、クラスの心が一つになれば難しい競技です。どのクラスも団結し、練習の成果を十分に発揮していました。



また、3年生女子のダンスと男子の組体操は圧巻でした。ダンスは生徒自ら創作したもので、美しく、愛嬌のある表現豊かな演技でした。



男子の組体操は、たくましく、柔軟性のある力強い演技でした。



ご来賓の方々からは、「見応えのあるすばらしい演技をありがとうございました」「中央中学校の生徒は元気で明るいですね」といったお褒めの言葉もいただきました。

私(校長)は、行事等が終わると大切なことをいつも再認識します。それは、子どもたちには無限の可能性があり、それをいかに引き出すかが私たち教職員の仕事であるということです。

今後もお子様の可能性を認め、励ましながら秘めた可能性を引き出すことのできる教育に取り組んでまいりたいと考えております。

どうぞ、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

選手宣誓《体育委員長 永田 悠真 君》

体育委員長の永田君が開会式において、明るく元氣な声で選手宣誓を行いました。

『宣誓、僕たち生徒一同は、今日のために練習や準備に一生懸命取り組んできました。一日一日の練習を大切にし、お互い高めあってきた成果を今日この場で発揮します。最後まで諦めずに全力で取り組む姿を見てください』

内容も声の大きさもすばらしい宣誓でした。

保護者の皆様へ

今年も土曜日開催ということで、本当に多くの保護者や地域の方にご観覧いただきました。さらに、子どもたちへの暖かい拍手やご声援を送っていただき、どんなに子どもたちは励まされたことでしょうか。重ねて御礼申し上げます。

また、PTAの役員の方々には、早朝より受付や広報活動、自転車整理等に携わっていただきました。今回の体育大会が滞りなく実施できたのも役員の皆様のおかげであると思っています。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

話は変わりますが、みなさん、靴はきちんと揃えていますか？

先日、校区内の小学校に行ってきました。靴箱には、靴がきれいに揃えられて入っていました。それを見た後、本校に帰って靴箱を見ると、約9割の靴はきちんと揃っていましたが、残り1割は、揃っていなかったり、横を向いていたりしました。特に気になったのは、下校後の上靴の様子(写真)です。クラブ活動や習い事があって、急いで上靴を靴箱に入れたのでしょうか。おそらく、小学生の時にできていた習慣が中学生になって、なおざりになってしまっている生徒もいるのではないのでしょうか。



昔から「履き物を揃えると心も揃う」と言われています。靴を揃える心がけをしている人は、気持ちの面でも落ち着いた生活を送ることができると思われれます。ご家庭でも是非、靴を揃える習慣をつけてあげてください。